

教材教具名 ころがしレースをしよう	教科 (算数)	情報提供者 ()
教材教具写真		
教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等		
<p>1 ねらい : 赤、黄、青の色の弁別をしたり、目で見て手を操作したりすることをして、転がしレースをすることができる。友達と競い合う楽しさを感じ取る。</p> <p>2 発達段階など : 本校の発達段階別指導内容表算数・数学科での「Ⅰ笑顔での交流が育つ時期」～「Ⅲ操作することを通して数や量を認識する時期」における児童を対象とした。</p> <p>3 使い方 : 児童の実態に合わせて1つの枠に1つのボールを手で操作して入れる、ボールの色と同じ色の枠に入れることを課題とする。全員の児童がボールを入れ終わると、斜面のボードを設置して枠とそれに入れたボールを使って転がしレースを行う。</p>		
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)		
<p>最初に見本を見せ、回数を重ねることで、ボールを枠の中に入れること、ボールを同じ色の枠に入れることをそれぞれの児童が理解して課題に取り組むことができてきた。物に触れることが苦手だった児童も最後のほうでは自分からボールに手を伸ばすことができてきた。また、持ったボールに注目することが難しい児童も、注目したときに一緒にボールを入れる支援を行っていく中で、自分からも少し持ったボールに注目できる場面も見られた。</p>		